

アグリ筑西 2021 8月号

熱中症対策を徹底し、
農作業中の熱中症に十分注意しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel:0296(24)9206
Fax:0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! ↑

下妻のナシの収穫シーズンを迎えています!

7月9日、無加温ハウス幸水の出荷が始まりました。今年の梨は、大きな気象災害等はなかったことから、玉の肥大状況、出荷量は平年並みが見込まれています。また、品質は良く、しっかりとした甘みとなっており、コロナ禍ではありますが、需給環境は良いことから、販売単価については平年並みが見込まれています。

7月下旬には露地幸水の出荷がはじまり、最盛期となるお盆商戦に向けての本格出荷を迎えます。



← 無加温ハウスナシ
'幸水'

← ナシの選果の様子



農福連携ってどんな取り組みだろう!?

農福連携とは、障害等を持つ方が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性が高いことから、注目されるようになりました。

筑西普及センター管内でも、既に、梨の落ち葉さらいや剪定枝の片づけ、コギク苗の定植、トウモロコシの播種作業など、実際に農福連携に取り組んでいる生産者の方がいらっしゃいます。

なお、作業は、障害者の方だけではなく、福祉事業所の職員の方も一緒に行いますので安心して任せることが出来ます。

興味がありましたら、是非普及センターまでお問合せください(0296-24-9206)。



トウモロコシの播種作業の様子



剪定枝の片づけの様子

こだまスイカアイス リニューアル！市長表敬

令和3年7月1日、筑西・桜川こだまスイカ産地女性の会（以下 女性の会）は「こだまスイカアイス」のリニューアル発売を開始しました。それに関連し6月30日に筑西市長、7月12日に桜川市長を表敬訪問しました。

こだまスイカは3月から7月頃に出荷されている、筑西・桜川市の名産品です。女性の会では、こだまスイカの旬のおいしさを、消費者に通年楽しんでもらうことで産地のPRに繋げようと、平成22年からアイス販売してきました。今回、よろず支援拠点のコーディネーターにアドバイスをいただきデザインを一新し、女性らしくかわいらしいデザインになって生まれ変わりました。



アイスの味は、
女性の会のメンバーで決めました！

スイカの果汁
50%配合

スイカらしい
味わい・香り！

ミルクのコク
もある！



税込み390円

販売先 ・道の駅グランテラス筑西
・JA北つくばファーマーズマーケットきらいち筑西店

今後、桜川市に今年5月にオープンした加波山市場や筑西・桜川市でふるさと納税の返礼品として利用してもらうなど販路拡大に努力していく予定です

農作業中の熱中症注意！熱中症対策について！

農作業中の熱中症による死亡事故は日中の最高気温が30度を超える日が多い7～8月に多い傾向にあり、70代以上で全体の86%を占めています。高齢農業者が熱中症になりやすい理由には、発汗量が多いこと、喉の乾きを感じづらいこと、塩分損失量が多いことが関係しています。

また、マスクの着用により、皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなっています。熱中症を防ぐために適宜、マスクを外しましょう。

皆さん、下記の熱中症対策を徹底して、熱中症に注意しましょう。また、農林水産省公式無料アプリ「MAFFアプリ」をダウンロードして、熱中症に関する情報を受信しましょう！

- 高温時の作業は避けましょう
- 単独作業は、避けましょう
- 20分おきに休憩&水分補給しましょう
- 適宜マスクを外しましょう
(屋外で人と2m以上離れているとき)

「MAFFアプリ」



Android



iOS

普及員のひとごと 小山田一郎

4月から下妻市担当となり、県のナシ生産を率いる産地に関与させていただいていることを光栄に感じています。微力ながら、私にもお役に立てることがあればと奮闘してはいますが、私が人生の中で最も心を奪われている果物であるナシが、あるときから食物アレルギーになったことは伏せたまま業務にあたりたいと考えています。...

